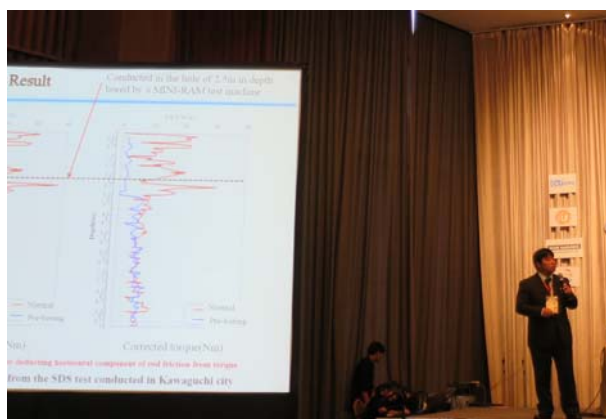


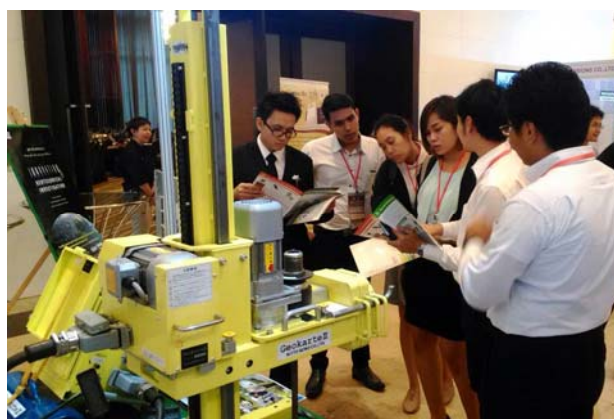
2016年10月28日

## 「タイ地盤工学会会議」で地盤調査試験法「SDS<sup>®</sup>試験」に関する論文を発表 ～土質が分かるSDS試験の応用による堤防調査などを提案～

戸建住宅の地盤調査・建物検査を手掛けるジャパンホームシールド株式会社（所在地：東京都墨田区、代表取締役社長：斉藤武司）では、2016年10月にタイ・バンコクで開催された「3rd Thai Geotechnical Conference（第3回タイ地盤工学会会議）」において、土質が分かる次世代の地盤調査試験法「スクリュードライバーサウンディング試験（SDS<sup>®</sup>試験）」に関する論文を発表しました。



&lt;当社社員による発表&gt;



&lt;SDS試験機を展示したブース&gt;

今回論文を発表した「タイ地盤工学会会議」は、タイ地盤工学会などが主催し、国内外の地盤関連の専門家が研究成果を共有する会議です。3回目を迎える今年は10月12日から14日まで開催され、約400人が参加しました。このなかでJHSは、論文「Introduction of the SDS and its Application in Thailand（SDS試験の紹介とタイにおける応用）」の発表を行いました。

「地盤事故ゼロ」を目指して開発されたSDS試験は、現在日本で主流となっているスウェーデン式サウンディング試験（SWS試験）のデータに回転トルク値などのデータをあわせて総合的に分析することで土質を推定し、より正確な地盤判断が可能となる地盤調査試験法です。

論文では、SDS試験を使った土質推定や液状化可能性の評価方法を示し、タイの堤防の地盤調査や地盤液状化調査などでの活用を提案しました。特に堤防の地盤調査では、SDS試験により広範囲の調査をより速く安価に実施することができるため、堤防が崩壊する問題などでの有効活用が期待されます。

また、会場外のブースではSDS試験用機器を展示し、デモ運転も行いました。会場を訪れた研究者らが多く集まり、熱心に質問するなど、SDS試験に対する関心の高さがうかがえました。

ジャパンホームシールドでは今後も、SDS試験をはじめとする優れた技術とサービスを通じて、世界中の人々の豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。

### 本件に関するお問い合わせ先

 ジャパンホームシールド株式会社（<http://www.j-shield.co.jp/>）

本社：東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア17F

報道関係の方から：広報マーケティング部 児新（コニイ） TEL. 03-5624-1545

※このニュースレターは、ジャパンホームシールド（URL: <http://www.j-shield.co.jp/>）のホームページで発表しています。

&lt;ジャパンホームシールドはLIXILグループの一員です&gt;